

英国金融政策（2024年5月）

6会合連続で政策金利を据え置きも、利下げ票が増加

2024年5月10日

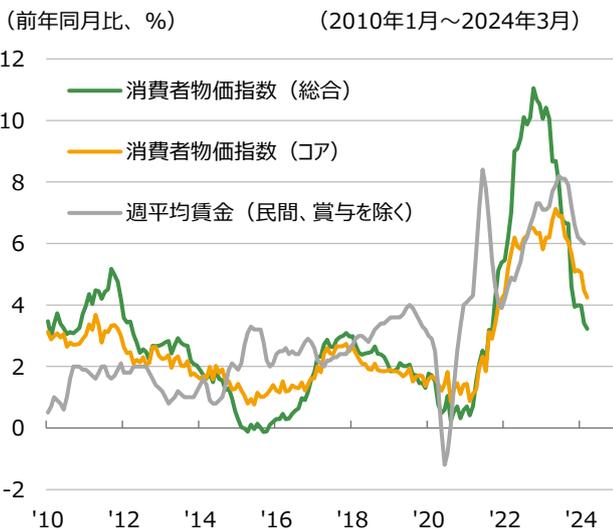
データ次第と断りつつも、ベイリー総裁は利下げの地均しへ

BOE（イングランド銀行）は5月8日（現地、以下同様）に終了した金融政策委員会で、市場予想通り6会合連続で政策金利を5.25%に据え置く決定をし、9日に発表しました。総裁を含む7名が据え置き、2名が0.25%ポイントの利下げを支持しました。前回は利下げ支持が外部委員の1名だけでしたが、今回はその1名に加えて、3名の副総裁のうち1名が利下げを支持しました。利下げへの傾斜の象徴と捉えられます。

声明文には「今後発表されるデータと、それらが持続的なインフレのリスクが後退しているとの評価にどのように影響するかを考慮する」との一文が追加されました。また、金融政策報告書では、市場が織り込む将来の政策金利等を前提に、2024年内にも需要は供給を下回り始め、2、3年後のインフレ率はそれぞれ1.9%、1.6%へ低下するとの見通しが示されました。更に、ベイリー総裁は記者会見で、前回2月の見通しから経済データにサプライズはほとんどない、サービス価格や賃金の多少の上振れを過大に解釈しない、インフレ率は望ましい動き、市場が織り込む以上に利下げを実施する必要があるかも知れない、6月の利下げは排除もされないし既成事実でもない等々、利下げに踏み込んだ発言をしました。

これらを受けて、市場は6月の利下げ開始の織り込みを強めました。もともと、結局はデータ次第であり、BOEもその点を強調しています。据え置きを支持した委員の間でも、インフレに係るリスクや利下げに必要なデータに関する見解の相違が指摘されており、当社では引き続き8月の利下げ開始を予想します。

英国の消費者物価指数と週平均賃金



※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列
※週平均賃金は3カ月移動平均で2024年2月まで (出所) LSEG

英国の金利と為替



※政策金利は発表日ベース (出所) ブルームバーク

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。